

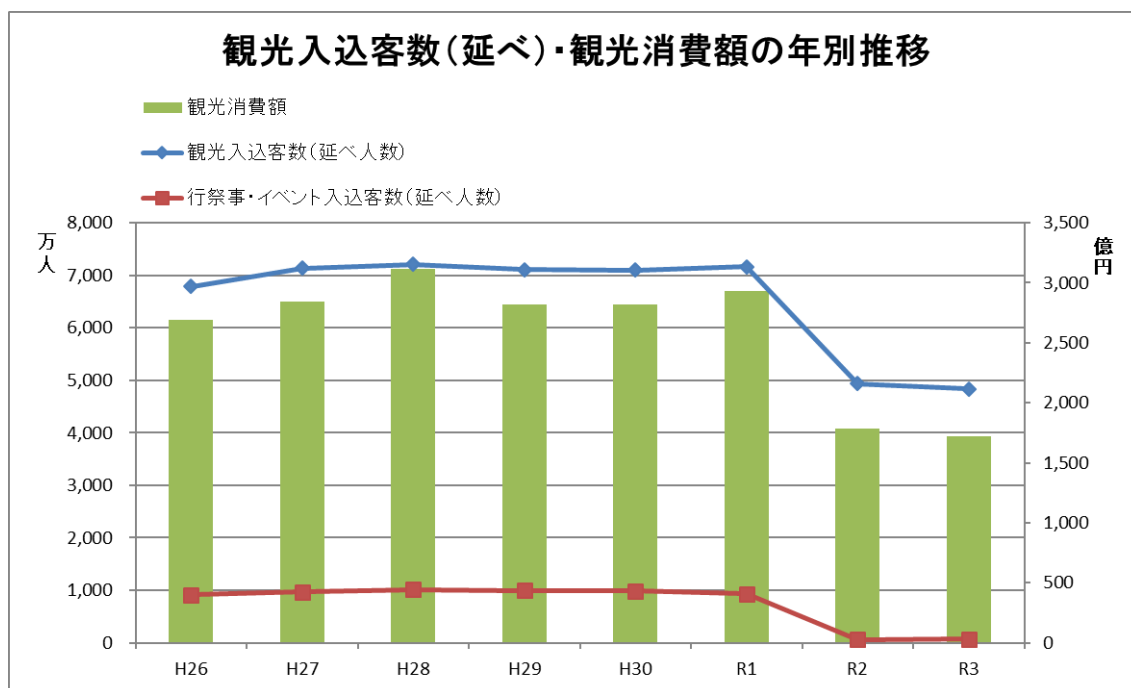
令和3年岐阜県観光入込客統計調査



令和4年11月

岐阜県観光国際局観光企画課

1 観光入込客数（延べ）・観光消費額



区 分		R 3 [2021]年	参考：R 2 [2020]年	参考：R 1 [2019]年
観光入込客数 (延べ人数)		4, 8 3 7 万 9 千人 (対 R2 年比 △ 2.0%) (対 R1 年比 △ 32.5%)	4, 9 3 5 万 7 千人	7, 1 6 2 万 人 8 千人
行祭事・イベント 入込客数 (延べ人数)		7 4 万 8 千人 (対 R2 年比 + 29.5%) (対 R1 年比 △ 92.0%)	5 7 万 7 千人	9 3 5 万 4 千人
観光入込客数 (実人数)		3, 8 4 1 万 6 千人 (対 R2 年比 + 11.3%) (対 R1 年比 △ 20.0%)	3, 4 5 1 万 1 千人	4, 7 9 9 万 5 千人
内 訳	日帰り客	3, 5 0 4 万 7 千人 (対 R2 年比 + 13.2%) (対 R1 年比 △ 16.2%)	3, 0 9 4 万 8 千人	4, 1 8 2 万人
	宿泊客	3 3 6 万 9 千人 (対 R2 年比 △ 5.4%) (対 R1 年比 △ 45.4%)	3 5 6 万 3 千人	6 1 7 万 5 千人
	【うち外国人】	【 2 万 2 千人】 (対 R2 年比 △ 83.0%) (対 R1 年比 △ 98.1%)	【 1 3 万 2 千人】	【 1 1 6 万 7 千人】

区 分		R 3 [2021]年	参考：R 2 [2020]年	参考：R 1 [2019]年
観光消費額		1, 7 2 1 億 4 1 百万円 (対 R2 年比 △ 3.5%) (対 R1 年比 △ 41.3%)	1, 7 8 4 億 5 1 百万円	2, 9 3 2 億 8 3 百万円
内訳	日帰り客	9 6 4 億 2 7 百万円 (対 R2 年比 + 1.4%) (対 R1 年比 △ 34.0%)	9 5 0 億 9 4 百万円	1, 4 6 1 億 3 3 百万円
	宿泊客	7 5 7 億 1 4 百万円 (対 R2 年比 △ 9.2%) (対 R1 年比 △ 48.5%)	8 3 3 億 5 6 百万円	1, 4 7 1 億 5 0 百万円

※千人未満を四捨五入しているため、対前年比に誤差が生じることや、内訳の計と合計が一致しないことがある。

※宿泊客の「うち外国人」については、観光庁の宿泊旅行統計調査における本県の外国人延べ宿泊者数をもとに算出している。(令和3年外国人延べ宿泊者数 3.1万人)

- **観光入込客数(延べ人数)**は、4, 8 3 7 万 9 千人で、過去(現行の調査手法となった平成23年以降：以下同じ)最低となった。
- **行祭事・イベント入込客数(延べ人数)**は、7 4 万 8 千人で、R 2 年に比べ増加しているが、コロナ禍前(R 1 年：以下同じ)の9割減となっている。
- **観光入込客数(実人数)**は、3, 8 4 1 万 6 千人で、日帰り客の増加によりR 2 年に比べ増加しているが、コロナ禍前の2割減となっている。
- **観光消費額**の総額は1, 7 2 1 億 4 1 百万円で、過去最低となった。
うち日帰り客分は9 6 4 億 2 7 百万円、宿泊客分は7 5 7 億 1 4 百万円で、コロナ禍前の3～5割減となっている。
- **主な傾向**は、以下のとおり。
 - ・令和3年は度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置など、**新型コロナウイルス感染症の影響をほぼ通年で受けたこと**で、観光入込客数(延べ人数)はR 2 年からさらに減少している。
 - ・感染状況が影響し、**近場での日帰り旅行や訪問地を絞った旅行が好まれる傾向**にあったため、一人当たりの平均消費額は、日帰り客分・宿泊客分ともR 2 年からさらに減少している。

日帰り： 3, 0 7 3 円 → 2, 7 5 1 円 (対前年比△10.5%)
宿泊客： 2 3, 3 9 4 円 → 2 2, 4 7 3 円 (対前年比△ 3.9%)

2 観光地点別の集客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	観光地点名	入込客数	参考：R2[2020]年		参考：R1[2019]年	
			順位	入込客数	順位	入込客数
1	土岐プレミアム・アウトレット	502.1	1	510.8	1	668.3
2	河川環境楽園	352.1	2	291.1	2	477.5
3	湯の華アイランド（可児市）	147.0	4	143.5	5	168.5
4	高山市街地エリア	137.9	3	159.8	3	382.7
5	千本松原・国営木曾三川公園（海津市）	120.5	7	99.4	9	136.4
6	千代保稲荷神社（海津市）	101.9	6	128.6	6	160.6
7	伊奈波神社（岐阜市）	98.2	5	138.2	7	147.5
8	岐阜公園	63.5	8	80.1	11	102.2
9	下呂温泉（旅館の宿泊利用及び日帰り利用）	60.4	9	72.1	10	122.5
10	百年公園（関市）	58.4	14	49.7	20	53.2

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、屋外観光施設のニーズが高まり、R2年に比べ「河川環境楽園」や「千本松原・国営木曾三川公園（海津市）」が2割増となるなど、公園を中心に入込客数が増加した。
- 令和3年はコロナ禍で初めての年始となったため、外出自粛要請や分散参拝が求められた結果、多くの神社で入込客数が減少した。

3 行祭事・イベント入込客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	行催事・イベント名	入込客数	参考：R2[2020]年		参考：R1[2019]年	
			順位	入込客数	順位	入込客数
1	チューリップ祭（海津市）	19.7	2	8.8	10	20.6
2	たじみ陶器まつり	15.0	-	-	13	16.0
3	花火物語（下呂市）	6.2	1	11.3	49	4.7
4	いでゆ朝市（下呂市）	3.9	4	5.4	25	9.2
5	各務原市桜まつり	3.2	-	-	7	29.0
6	城下町大垣イルミネーション	3.0	6	3.4	62	3.5
7	たじみ陶器まつり（秋）	2.5	-	-	11	20.0
8	刃物まつり（関市）	2.1	-	-	-	-
9	あかりの町並み美濃	2.0	9	2.2	77	2.8
10	中津川ふるさとじまん祭	2.0	-	-	19	12.5

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き、多くのイベントが中止や規模を縮小しての開催となったものの、R2年に比べれば人流に動きがみられる。

4 経済波及効果（試算）

令和3年の県内観光消費による経済波及効果（観光関連産業の経済波及効果）を試算したところ、生産誘発額は2,502億70百万円、就業誘発効果は、22,471人となった。

<参考 1 > 旅行者分類別データ

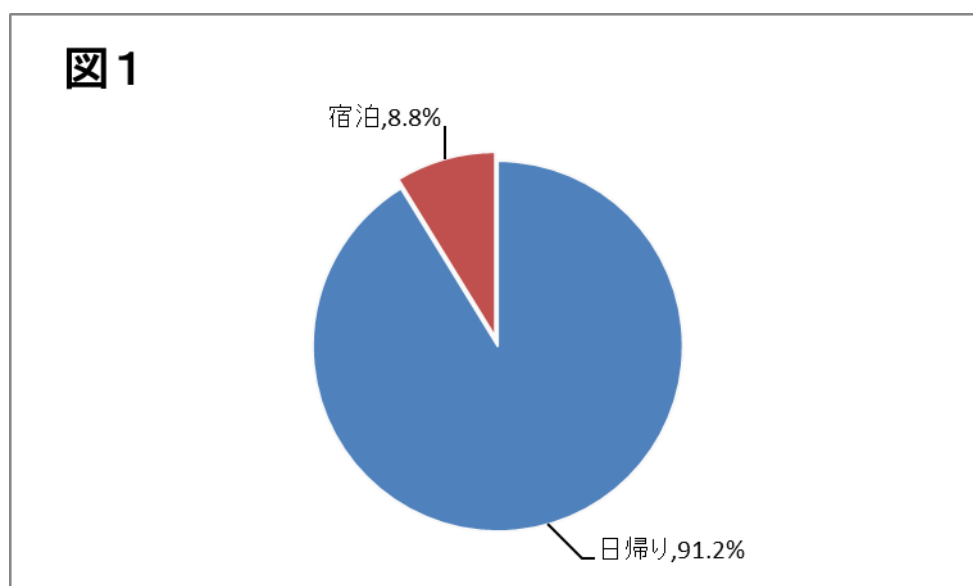
県内観光客の動向をより詳細に分析するため、観光入込客数を実人数に換算し、旅行者分類別、県内圏域別の入込客数、外国人宿泊客数等を算出した。

※詳細は、別添「参考表」参照

※千人未満を四捨五入しているため、対前年比に誤差が生じることや、内訳の計と合計が一致しないことがある。

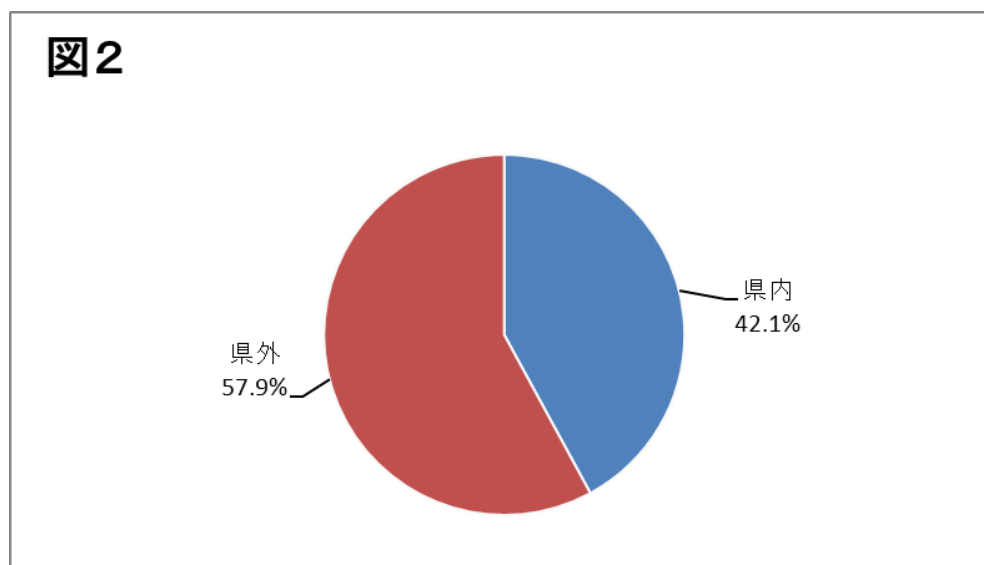
※新型コロナウイルス感染症拡大により、分析に必要な観光客へのアンケート調査の実施が困難な時期があったため、例年調査結果を公表している「居住地別観光入込客数の県外の内訳」「年齢別・男女別観光入込客数」「利用交通機関別観光入込客数」「同行者別観光入込客数」「観光地分類別観光入込客数の割合」の分析は実施していない。

(1) 日帰り・宿泊別観光入込客数（実人数）の割合



令和3年の観光入込客数（実人数）は3,841万6千人であり、日帰り・宿泊別にみると、日帰り客は3,504万7千人（構成比91.2%）、宿泊客は336万9千人（構成比8.8%）であり、依然として日帰り客が多くを占めた。（図1）

(2) 居住地別観光入込客数（実人数）の割合



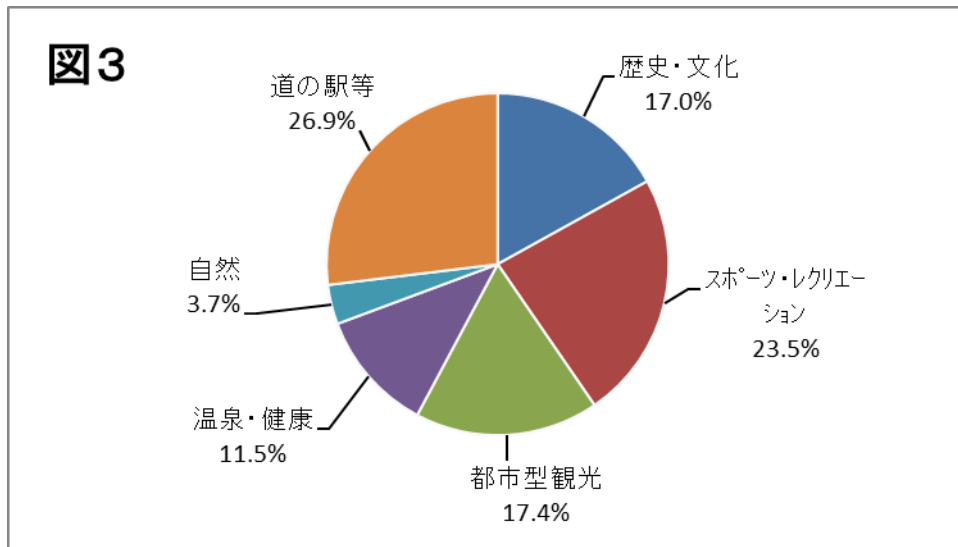
居住地別に見ると、県全体では県内客は1,616万3千人（構成比42.1%）、県外客は2,225万3千人（構成比57.9%）と、県外客が多くを占めた。（図2）

○ 平均訪問地点数と平均宿泊数

1人当たり平均訪問地点数（「観光地点入込客数（延べ人数）」を「観光入込客数（実人数）」で除したものは、**1.3地点（▲0.1地点）**で、四半期別に見ると、1～3月が1.3地点（▲0.3地点）、4～6月が1.2地点（▲0.1地点）、7～9月が1.1地点（▲0.3地点）、10～12月が1.4地点（+0.1地点）であった。

また、**同一施設における1人当たり平均宿泊数**（「宿泊客数（延べ人数）」を「宿泊客数（実人数）」で除したものは、**1.1泊（▲0.2泊）**で、四半期別に見ると、1～3月が1.2泊（▲0.1泊）、4～6月が1.1泊（▲0.5）、7～9月が1.1泊（▲0.2泊）、10～12月が1.1泊（±0.0泊）であった。

＜参考 2＞観光地分類別観光入込客数（延べ人数）の割合



観光地分類別に見ると、「道の駅等」、「スポーツ・レクリエーション」、「都市型観光」の順に多く、以下、「歴史・文化」、「温泉・健康」、「自然」と続く。（図3）

※観光地の分類方法については、8頁＜調査の概要＞参照

<調査の概要>

本調査は、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」(平成25年3月改定)に基づき、実施したものである。

1. 調査期間

令和3年1月1日から令和3年12月31日まで

2. 調査対象観光地点等

①観光地点の定義

- ・非日常利用が多いと判断される地点。
- ・観光入込客数が適切に把握できる地点。
- ・前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上である地点。

②観光地点等の分類

観光地点等の分類は以下の区分による。

■観光地点	
自然	山岳、高原、湖沼、河川、海岸、海中、島、その他自然(エコツーリズム、グリーンツーリズム等)
歴史・文化	史跡、城、神社・仏閣、庭園、歴史的まち並み、旧街道、博物館、美術館、記念・資料館、動・植物園、水族館、産業観光、歴史的建造物、その他歴史
温泉・健康	温泉地、その他温泉・健康
スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーション施設、スキー場、キャンプ場、釣り場、海水浴場、マリナー・ヨットハーバー、公園、レジャーランド・遊園地、テーマパーク、その他スポーツ・レクリエーション
都市型観光 一貫物・食等	商業施設、地区・商店街、食・グルメ、その他都市型観光一貫物・食等(農水産品の直売所、物産館等)
道の駅等	他に分類されない観光地点(道の駅、パーキングエリア等)
■行祭事・イベント	行・祭事、花見、初詣、花火大会、郷土芸能、地域風俗、博覧会、コンサート、スポーツ観戦、映画祭、コンベンション・国際会議、他に分類されない行祭事・イベント

3. 調査プロセス

(1) 観光地点等入込客数調査

統計の基礎となる観光地点等ごとの入込客数（延べ人数）を把握する。

(2) 観光地点パラメータ調査

県内の20観光地点を訪れた観光客を対象に調査を行い、属性別の構成比、平均訪問地点数、平均消費額単価などのパラメータを算出する。

(3) 観光入込客数（実人数）・観光消費額単価・観光消費額の推計

上記（1）、（2）及び観光庁より提供される以下のデータを用いて推計する。

- ・観光目的別・居住地別の宿泊観光入込客数
- ・ビジネス目的・県外の日帰り観光入込客数
- ・観光目的別・宿泊／日帰り別の訪日外国人の観光消費額単価
- ・ビジネス目的・宿泊／日帰り別、県内／県外別の観光消費額単価
- ・観光／ビジネス別、県内／県外別実家・キャンプ場等利用補正係数